

ATA-net研究センター

RYUKOKU
UNIVERSITY

薬物依存症回復支援者研修 (DARS) 京都セミナー

アクションの多様性と回復の多様性～DARS 12年の軌跡～
ハイブリッド開催・申込制・参加有料

薬物依存症回復支援者研修（DARS: Drug Addicts Recovery Supports）は、本年5月で12周年を迎えました。これまでのDARSでは、当事者や研究者、実務家などが講師となり、北は北海道から、南は沖縄までの全国各地で研修会を実施し、多くの方にご参加いただきました。

日本では、「ダメ、ゼッタイ。」を掲げた覚醒剤乱用を前提とする画一的な薬物政策が、現在もなお展開されています。しかしながら、依存の対象や依存症の症状は多様であり、それに応じた多様な回復支援が必要です。そこで、本セミナーでは、DARS＝12周年を記念して、これまでの活動を振り返り、これからの12年を語り合いたいと思います。そして、今後の回復支援のあり方を議論し、ATA-netが開発した討議スキーム“えんたく”^{*}を用いて課題を共有することを目的とします。

^{*}課題共有型円卓会議“えんたく”の定着普及は、JST/RISTEXからATA-netが委託を受けて実施している事業です。

開催概要

[日程]

2021年12月4日（土）13:00-17:00／5日（日）10:30-17:00

[会場／定員]

【A 対面参加】深草キャンパス（21号館教室を予定）／100名

【B リモート参加】オンライン（YouTube配信を予定）／300名

[参加費] ※“えんたく”テキスト代として

【A 対面参加】（2日間）2,000円

【B リモート参加】（2日間）一般1,000円 学生500円



↑参加申込み用のweb
サイトは上記QRコー
ドよりアクセス可能

主催・問い合わせ先：龍谷大学ATA-net研究センター
E-mail：info@ata-net.jp | TEL 075-645-8646

共催：龍谷大学 犯罪学研究センター
企画・運営：（一社）刑事司法未来